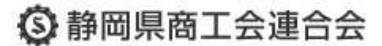


News Release



県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【平成 30 年 10 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび平成 30 年 10 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 平成 30 年 10 月 31 日
- (2) 調査対象 県下 35 商工会（うち 34 商工会より回答）【回収率 97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【台風による被害が幅広い業種の業況に影響】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-6.9（前月-14.2、前年同月-8.8）で、前月比 7.3pt の好転となった。衣替えによる需要の増加により小売業等で業況が好転したほか、台風被害による修繕需要が発生した建設業は、引続き、受注が好調である。一方、人手不足や原材料の調達における課題は未だ根強く残っている。

【製造業】

業況は-2.9（前月-9.8、前年同月 0.9）と前月に比べ 6.9pt 好転した。依然として人手不足が深刻である一方、機械金属を中心に受注は旺盛で、年度内の見通しも明るい状況であるとの意見が聞かれた。

【建設業】

業況は 5.8（前月-11.8、前年同月-8.1）と前月に比べ 17.6pt 好転した。台風の被害を受けた家屋の修繕依頼が多数発生し、引続き、受注は安定的に確保できている。一方で、人手不足により手が回らない状態が続いているほか、資材の入荷も滞る等、対応が後手に回る等の課題も見られる。

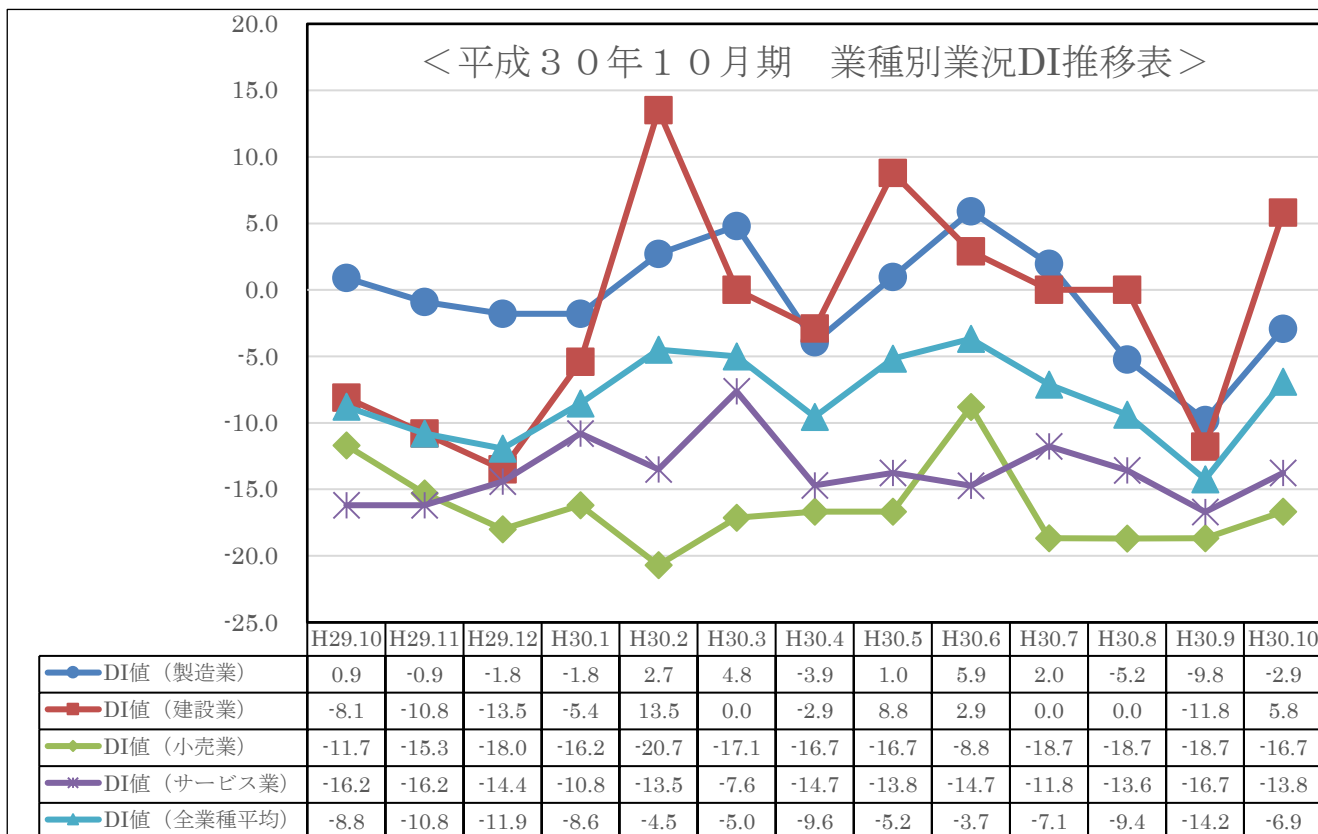
【小売業】

業況は-16.7（前月-18.7、前年同月-11.7）と前月と比べ 2.0pt 好転した。季節ものの衣料を中心に販売が好調であることが予想される一方、台風 24 号の影響により臨時休業や食材廃棄を強いられる店舗が広く発生する等、自然災害による被害も大きく、全体の好転幅を押し下げた。

【サービス業】

業況は-13.8（前月-16.7、前年同月-16.2）と前月に比べ 2.9pt 好転した。衣替えシーズンということで、洗濯業を中心に改善が見られるほか、理美容業においても安定的に顧客確保が図れた。一方、台風の影響で地域によっては宿泊キャンセルが多数発生する等、旅館業の不振が全体の好転幅を押し下げた。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：高野・中村〕



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】（食料品製造業・繊維工業・機械金属業）

- ・機械金属に関する突発的な受注が増加している。（伊豆）
- ・原油高や人手不足等の影響を受け、収益性が悪化している。（富士駿東）
- ・生鮮食料品を中心に、食料品の原材料価格は上昇傾向にある。（中部）
- ・試作開発を請負う事業者、自動車下請事業者を中心に、業績が好調である。（中東遠）
- ・機械金属に関しては、来年3月頃までの受注量は好調の見通し。（西遠）

【建設業】

- ・台風の影響により修理等の受注が多く、前年よりも業績は良い。（伊豆）
- ・少しずつではあるが、新築やリフォームの需要が増えている。一方で、需要の増加により資材調達に課題が生じているとの声も聞かれた。（富士駿東）
- ・人手不足が解消されず、作業員の高齢化と併せて大きな課題となっている。台風による軽微な被害が多く、受注は多いが、請負額は小さいという状況。（中部）
- ・台風被害による修繕依頼が多いが、人手不足により手が回らない状態。（中東遠）
- ・台風の影響を受け、屋根の補修依頼等が殺到しているが、資材が確保できず、対応が遅れている。（西遠）

【小売業】（衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業）

- ・衣料品、食料品ともに、前年同様、売上は安定している。（伊豆）
- ・運送費の上昇、自然災害、人手不足等の影響から食料品は高値で推移している。（富士駿東）
- ・台風による停電の影響で、臨時休業を余儀なくされる店舗があった。（中部）
- ・台風後の停電により、食品在庫を処分せざるを得ない等の事態が発生した。（中東遠）
- ・商店街から食料品店が撤退し、地元高齢者等の生活への影響が懸念される。（西遠）

【サービス業】（旅館業・洗濯業・理美容業）

- ・台風等、天候不順の影響から宿泊キャンセルが目立ち、売上が減少した。（伊豆）
- ・飲食業者を中心に、天災等の影響による食材仕入価格の上昇を不安視している。また、原油価格高騰の影響を受け、洗濯業では採算が悪化している。（富士駿東）
- ・宿泊利用者は多かったが、人手不足により施設を100%稼働できない状態が続いている。（中部）
- ・宿泊利用者は少なかったが、キャンプ場等のレジャー利用は好調だった。（中東遠）
- ・国道の通行止めが解除となったが、依然として観光客は少ない状況。（西遠）

小規模企業景気動向調査（平成 30 年 10 月末）

1.食料品製造業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-23.5	-26.4	好転
売上	-20.6	-14.7	減少
仕入単価	26.4	14.7	上昇
採算	-35.3	-20.6	悪化
資金繰り	-11.8	-8.8	悪化

2.繊維工業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-5.9	-11.8	好転
売上	-11.8	-8.9	減少
仕入単価	5.9	5.9	不変
採算	-8.8	-8.8	不変
資金繰り	-5.9	-5.9	不変

3.機械金属業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	20.6	8.8	好転
売上	20.7	14.7	増加
仕入単価	26.5	32.4	低下
採算	8.8	-2.9	好転
資金繰り	5.9	-2.9	好転

4.建設業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	5.8	-11.8	好転
売上	20.7	5.9	増加
仕入単価	26.5	29.5	低下
採算	-8.8	-14.7	好転
資金繰り	-17.7	-8.9	悪化

5.衣料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-23.5	-29.4	好転
売上	-17.6	-23.5	増加
仕入単価	8.8	-3.0	上昇
採算	-14.7	-23.5	好転
資金繰り	-17.6	-20.6	好転

6.食料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-17.6	-20.6	好転
売上	-14.8	-11.7	減少
仕入単価	17.6	17.6	不変
採算	-29.4	-20.6	悪化
資金繰り	-8.8	-2.9	悪化

7.耐久消費財小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-8.9	-6.0	悪化
売上	0.0	8.8	減少
仕入単価	14.7	17.7	低下
採算	-5.9	-5.9	不変
資金繰り	-5.9	-5.9	不変

8.旅館業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-14.7	-8.9	悪化
売上	0.0	-2.9	増加
仕入単価	11.8	14.7	低下
採算	-11.7	-5.9	悪化
資金繰り	-17.6	-5.9	悪化

9.洗濯業

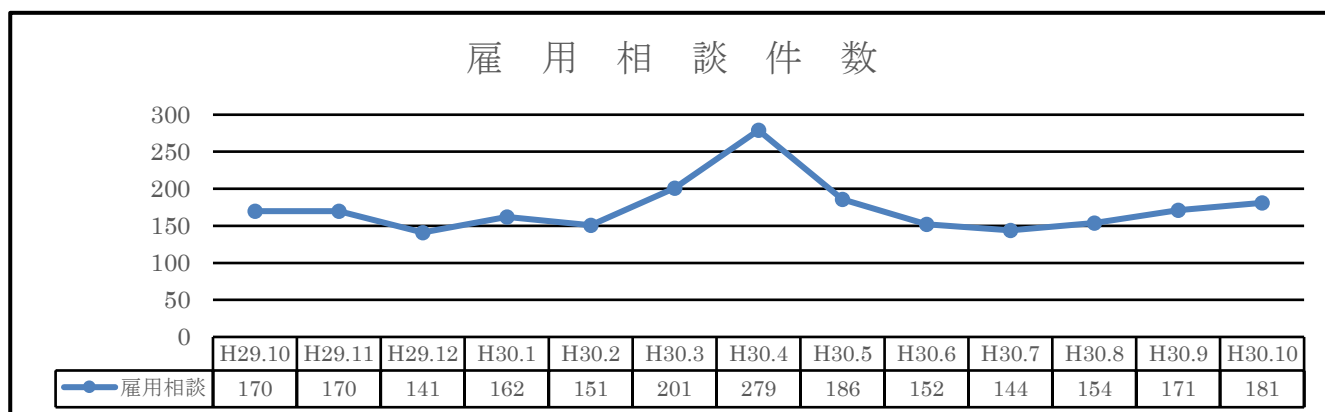
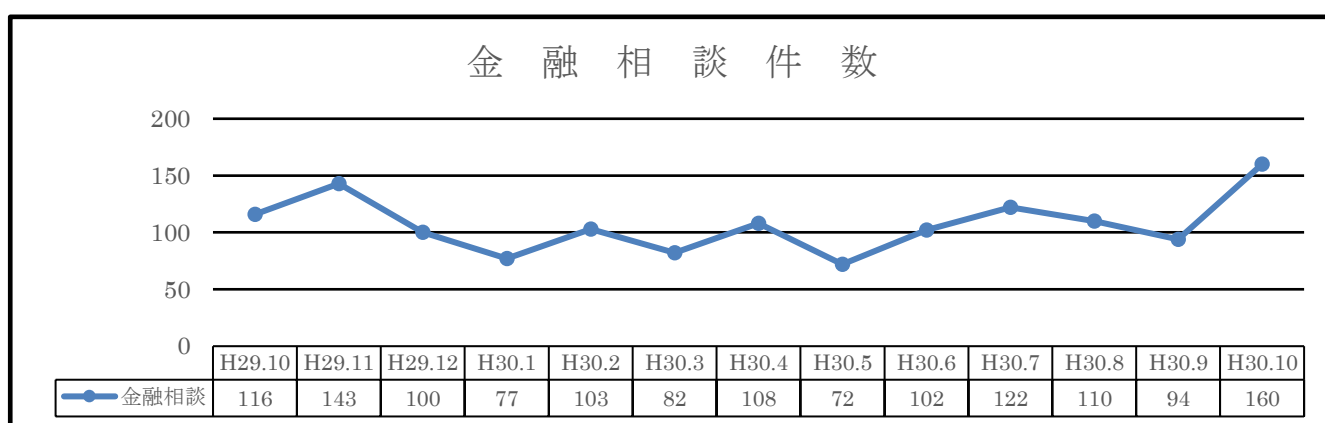
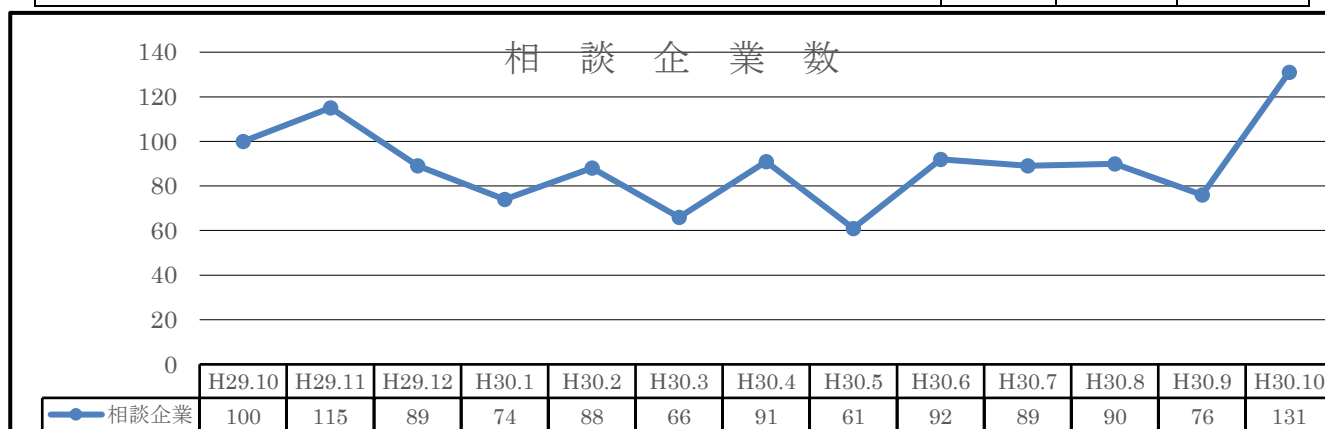
	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-23.6	-29.4	好転
売上	-23.5	-17.7	減少
仕入単価	11.8	17.6	低下
採算	-14.7	-14.7	不変
資金繰り	-14.7	-11.8	悪化

10.理美容業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-3.0	-11.8	好転
売上	5.9	3.0	増加
仕入単価	2.9	0.0	上昇
採算	0.0	3.0	悪化
資金繰り	0.0	0.0	不変

金融・雇用相談実績月次報告(平成 30 年 10 月期)

内容別内訳 (※ 1 件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	131	76	55
【金融相談件数】	160	94	66
新規融資（借換えを除く）	100	56	44
既存債務の借換え	45	31	14
借入れ条件変更	9	2	7
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	6	5	1
【雇用相談件数】	181	171	10



【金融相談】

金融相談件数は、160 件と前月(94 件)に比べ 66 件増加した。既存融資の借換えや条件変更等の相談は依然として多いものの、設備更新等に関する資金需要が増えている。

<経営指導員コメント>

- ・ 既存融資に関する条件変更等の相談が目立った。(伊豆)
- ・ 資金需要が少なかったが、設備資金等の問合せが増えてきた。(富士駿東)
- ・ 設備投資に関する相談が見受けられたが、相変わらず金融需要は低調である。(中部)
- ・ 台風被害への対応や老朽化設備の買換えに伴う設備資金の相談があった。(中東遠)
- ・ 返済負担軽減を目的に、既存融資の借換えに関する相談が多い。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、181 件と前月(171 件)に比べ 10 件増加した。様々な業種・地域において、人手不足が顕在化する中、ハローワーク等への求人掲載だけでは応募が皆無な状況が続いている。また、このような状況を受け、各地域において、労働力確保に向けた取組みが展開されている。

<経営指導員コメント>

- ・ 宿泊業、建設業を中心に人手不足が深刻であり、外国人労働者の雇用を検討する事業者が増えている。(伊豆)
- ・ 人手不足や業務効率化に悩む企業に、「働き方改革支援ハンドブック」、働き方改革推進支援センター、高年齢雇用継続給付等を適宜紹介した。(富士駿東)
- ・ 短時間労働者の労働時間延長に伴う社会保険の摘要についての相談があった。(中部)
- ・ 労働力確保を目的として、ハローワーク・市と共催で「ミニ面接会」を 10 月 25 日に開催。参加企業 8 社に対して求職者 8 名と厳しい結果となった。また、20～30 代を求める製造業や建設業が多い中、40～60 代の女性参加者が多い等ミスマッチが生じている。(中東遠)
- ・ 特に建設業の場合、労災事故に対し元請けが保険適用を嫌うケースが日常化しているが、労働者が監督署へ相談することで労災隠しが表面化するケースが目立ってきた。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・ 戸田さんさんまつり (11/4)、原及び浮島のコミュニティ文化祭 (11/4)、はら逸品うまいものフェス (11/18) が開催される。(沼津市)
- ・ 11 月 3, 10, 17 日(土)に、富士市産業支援センターと共催で創業塾を開催する。(富士市)
- ・ 会員事業所による「おいべっさん祭り」が初開催された。また、「お休み処」(NPO 法人 駿河裂織倶楽部)で七福神による「福と笑いと健康」を届けるイベントが行われ、満員御礼の盛況で地域おこしの一役となっていた。(静岡市清水)
- ・ 菊川産業祭 (11/18) が開催される。(菊川市)
- ・ まちのマルシャン (11/2～4)、e～らふるさと I N 大須賀 (11/4)、大東寄席 (11/23) が開催される。(掛川みなみ)
- ・ 森の軽トラ市 (毎月第 4 土曜日) (10/27)、森の古着市 (毎月第 3 日曜日) (10/14) が開催された。(森町)
- ・ 第 6 回「あさばの軽トラ市」(12/1)へ出店者募集や、PR 活動を開始した。(浅羽町)
- ・ はまきた産業祭 2018 (10/27-28) が開催された。(浜北)
- ・ 好天に恵まれ多くの方が来場した第 23 回産業まつり「あらいじゃん」(10/28)において地場産品等の PR を行なった。(新居町)